学校番号	３０２６

令和８年度　グローバル探究科

教科	理科	科目	(学)IB 生物 SL	単位数	３単位	年次	２年次
使用教科書	Oxford Course Companion and Study Guide Textbooks						
副教材等	ワークブックで学ぶ生物学の基礎 (Ohmusha) ワークブックで学ぶ生物学実験(Ohmusha)						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

生物の授業では、生命現象を理解するために、細胞や遺伝子、生態系などについて学習します。生徒は、科学的な概念をより広い世界と結びつけることが重要であり、進化や環境問題、生命倫理など、生物学の進歩が社会に与える影響についても学びます。SL の学生は、各トピックの詳細な解明に取り組むことが求められ、独自の研究を行うこともあります。また、実験を通じて科学的な思考力や実験技術を身に付け、安全な実験を行うためのリスク評価能力を習得します。生物学は、私たちの生活や環境に深く関わる重要な科学分野であり、生徒はその価値を理解し、将来に活かすことが期待されています。

2　学習の到達目標

生物学に関する事実、概念、手法について、十分な知識や理解を示すこと。
学んだことを現実世界で応用し、問題を解決する能力を身につけること。
研究やデータを分析し、評価することができるようになること。
研究を適切に行うために必要な実験スキルを身につけること。
安全かつ適切な実験を行うために、リスク評価能力を習得すること。
生物学の進歩が社会に与える影響や、倫理的な問題について考えること。

3　評価の観点及びその趣旨

IB 科目については、IB バカロレアの評価基準に基づいて評価を行う。

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨			

学習の進捗に応じて、短文・長文解答演習、研究レポート、科学協働プロジェクト、模擬試験、データ冊子によるレポート、データ分析、短文解答練習などを用いて評価を行い、学期末には 5 段階評定にまとめます。これにより、生徒たちが自分の学習の進捗を理解し、成長を促進することができます。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	調和と多様性	水 核酸 細胞の起源 細胞の構造 ウイルス 生物の多様性 生物の分類と分類学 生物多様性の保全	・生物学的な重要概念の知識を説明できる ・論文等をベースにしたデータの読み取りができ、またその表現ができる。 ・授業の復習のレポート課題・プレゼンテーション課題 ・実験計画等に関して見通しを持ち、倫理に適った研究を行うための研究スキル、実験スキルを身につけることができる。	・Paper 1: 選択肢問題 ・Paper 2: 論文等を元にした記述式問題。 レポート提出 プレゼンテーション ・実験研究について 研究プロポーザル 実験の実技 研究レポート プレゼンテーション		
	環境と保全	エコロジーと保全 意識と麻酔 人獣共通感染症				
2	構造と機能	糖質と脂質 タンパク質 膜と膜輸送 オルガネラとコンパートメント 細胞種分化 ガス交換 輸送 筋肉と運動 環境適応 生態学的ニッチ				
		データの収集とその分析				
3	相互作用	酵素と代謝 細胞呼吸 光合成 化学シグナル伝達 中性シグナル伝達 生体システムの統合 病気に対する防御 集団と共同体 エネルギーと物質の移動				
	個人研究					

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度